

ヒロセ通商株式会社
第 21 期定時株主総会 質疑応答要約

Q1.

(御質問) 今年から新 NISA 制度が導入されて、投資をする人が増えてきていると思うが、これを踏まえて、何か対策など検討したのか。

A1.

新 NISA が始まったことにより、社会的にも貯蓄から投資という流れができており、今後とも非常に盛り上がってくると思います。

当社においては主な事業は FX ですが、その中でも差金決済やスワップ投資など、様々な運用方法がございます。そういった魅力を、ライトユーザーに向けて PR しております。

そして、CFD 事業においても、株価指数や商品 CFD など、様々なラインアップをそろえておりますので、金融商品全般を当社で扱っているということ、今後も押し出していきたいと考えております。

Q2.

(御質問) 連結貸借対照表の固定負債の項目の、長期未払金の内訳・見込について教えてほしい。

A2.

当社は第 16 期株主総会において役員退職慰労金制度を廃止したため、役員退職慰労引当金を長期未払金に振り替えております。

Q3.

(御質問) 収益源の多様化について、目標や見込を教えてください。

A3.

当社の収益源の柱は、国内の FX 事業でございます。こちらについては、顧客ニーズの把握及び実現に努め、今後もサービスのブラッシュアップをはかってまいりたいと思います。CFD 事業においても、銘柄を増やすなど、取引環境の拡充を行っております。FX 事業に準じる収益の柱となるよう、努めてまいります。

また、海外事業にも注力しております。法人顧客営業は順調に拡大しており、対個人顧客につきましても、アンティグア・バーブーダに子会社を設立したことにより、より競争力あるサービスを世界中に展開できる準備を行いましたので、今後の業績に貢献する見込でございます。

Q4.

(御質問) 取締役、監査等委員の任期を教えてください。

A4.

取締役の任期は 1 年、監査等委員の任期は 2 年でございます。

Q5.

(御質問) 取締役に対する譲渡制限付株式の割当のための報酬支給について、どのようなものか教えてください。

A5.

譲渡制限付株式報酬とは、当社の取締役に対して、当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えると同時に、株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目的として導入した制度でございます。

ストックオプション制度もございますが、新株予約権の一種で、株式の交付を受けることができる権利を付与するものですので、株式を付与する本制度とは異なるものでございます。